

ロイヤルエンフィールド、EICMA2025 で発表した 2 台の新型車を 大阪・東京モーターサイクルショーで日本初披露



CLASSIC 650 125TH YEAR ANNIVERSARY SPECIAL EDITION

- EICMA2025(ミラノショー・イタリア)で発表した新型車 2 台をジャパンプレミア
- ピュア・モーターサイクリングの 125 周年を記念した「CLASSIC 650 125TH YEAR ANNIVERSARY SPECIAL EDITION」
- ブリット・シリーズの最新モデル「BULLET 650」

2026年3月5日：中型モーターサイクルセグメントのグローバルリーダーであるロイヤルエンフィールドは、2026年3月に開催される「第42回大阪モーターサイクルショー2026」および「第53回東京モーターサイクルショー2026」に、EICMA2025(エイクマ/ミラノ国際モーターサイクルショー)で発表した「CLASSIC 650 125TH YEAR ANNIVERSARY SPECIAL EDITION(クラシック・ロクゴーマル・125周年記念スペシャル・エディション)」と「BULLET 650(ブリット・ロクゴーマル)」を国内初披露。参考出品車として展示いたします。

東京会場では、3月27日(金)10:45より、ロイヤルエンフィールド・ブースにてプレスカンファレンスを開催。アジア太平洋地域事業の新しい責任者である Manoj Gajarlwar(マノジ・ガジャールワール)がプレゼンテーションを行います。



BULLET 650

また東京会場の一般公開日には、“るなもーたー”として SNS や二輪専門メディアで活躍中のバイク女子『るなも』のトークショーや、デジタルメディア/RIDE HI の根本 健さんのスペシャルトークショー、国内最大のレンタルバイクサービスを展開するレンタル 819 とロイヤルエンフィールドの新キャンペーンの紹介、ジャパンプレミアモデルの車両解説など、さまざまなステージコンテンツを展開します。

【第 42 回大阪モーターサイクルショー2026 開催概要】

開催日時：2026 年 3 月 20 日(金)～22 日(日)10:00～17:00

開催場所：インテックス大阪 1・2 号館、屋外特設会場

主 催：一般社団法人 日本二輪車普及安全協会

【第 53 回 東京モーターサイクルショー2026 開催概要】

開催日時：2026 年 3 月 27 日(金)10:00～13:00 (特別公開) 13:00～18:00 (一般公開)

プレスカンファレンス／10:45～11:00 (ロイヤルエンフィールド・ブース)

2026 年 3 月 28 日(土)10:00～18:00 (一般公開)

2026 年 3 月 29 日(日)10:00～17:00 (一般公開)

開催場所：東京ビッグサイト 西 1・2・3・4 ホール、アトリウム、西屋外駐車場

主 催：一般社団法人 日本二輪車普及安全協会

<東京モーターサイクルショー／ステージコンテンツ>



3月27日(金)

- 14:00 バイク女子『るなも』 新型 METEOR350 トークショー
- 14:15 ジャパンプレミアモデル紹介
- 14:30 レンタル 819 が語る、ロイヤルエンフィールドという体験

3月28日(土)

- 11:00 バイク女子『るなも』 新型 METEOR350 トークショー
- 11:15 ジャパンプレミアモデル紹介
- 11:30 レンタル 819 が語る、ロイヤルエンフィールドという体験
- 12:00 RIDE HI／根本 健 スペシャルトークショー
- 14:00 バイク女子『るなも』 新型 METEOR350 トークショー
- 14:15 ジャパンプレミアモデル紹介
- 14:30 レンタル 819 が語る、ロイヤルエンフィールドという体験

3月29日(日)

- 11:00 バイク女子『るなも』 新型 METEOR350 トークショー
- 11:15 ジャパンプレミアモデル紹介
- 11:30 レンタル 819 が語る、ロイヤルエンフィールドという体験
- 12:00 RIDE HI／根本 健 スペシャルトークショー
- 14:00 バイク女子『るなも』 新型 METEOR350 トークショー
- 14:15 ジャパンプレミアモデル紹介
- 14:30 レンタル 819 が語る、ロイヤルエンフィールドという体験

【お詫びと訂正】

「METEOR 350」の特別仕様車「METEOR 350 Sundowner Special Edition(メテオ・サンゴーマル・サンダウナー・スペシャル・エディション)」は、販売台数に達したため、新型「METEOR 350」へ展示車両を変更いたします。予めご了承ください。

<ロイヤルエンフィールドについて>

1901年の創業以来、ロイヤルエンフィールドは美しいオートバイを作り続けてきた二輪車ブランドです。そのルーツは英国にあり、1955年にマドラス(現チェンナイ)に製造工場を設立。以来ロイヤルエンフィールドは、インドのミッドサイズ・モーターサイクルセグメントの成長を牽引してきました。ロイヤルエンフィールドのモーターサイクルは、美しく、シンプルで親しみやすく、ライディングする楽しさに溢れた乗り物である。それは我々ロイヤルエンフィールドが、自らを『Pure Motorcycling／ピュア・モーターサイクリング』と呼ぶ由縁です。

ロイヤルエンフィールドのプレミアムラインナップには、クルーザーの「METEOR 350(メテオ・サンゴーマル)」、650パラレルツインモーターサイクルの「CLASSIC 650(クラシック・ロクゴーマル)」「SUPER METEOR 650(スーパー・メテオ・ロクゴーマル)」、「INT650(アイエヌティ・ロクゴーマル)」、「CONTINENTAL GT650(コンチネンタル・ジーティー・ロクゴーマル)」、アドベンチャー・モーターサイクルでは「HIMALAYAN 450(ヒマラヤ・ヨンゴーマル)」、アイコンックな「GOAN CLASSIC 350(ゴアクラシック・サンゴーマル)」「BULLET 350(ブリット・サンゴーマル)」、「CLASSIC 350(クラシック・サンゴーマル)」があります。また我々は2024年に、新しいシティ&電動モーターサイクルブランド『FLYING FLEA(フライング・フリー)』を発表しました。それはモダンなデザインと先進技術を融合させた、都市型モビリティカテゴリーにおける我々の新たなチャレンジでもあります。

また我々ロイヤルエンフィールドは、世界各地でモーターサイクルイベントを企画しています。とくに、毎年11月にインド西海岸のリゾート地ゴアの美しいビーチに、世界中からロイヤルエンフィールド・ライダーが集まるイベント「Motoverse(モトバース)」や、ヒマラヤ山脈の高地を走る「Himalayan Odyssey(ヒマラヤン・オデッセイ)」が有名です。世界中の人々がロイヤルエンフィールドを走らせる世界同日開催のライディングイベント「One Ride(ワンライド)」も実施しています。

インドのトラック大手 Eicher Motors Limited(アイシャーモーターズ・リミテッド)の一部門であるロイヤルエンフィールドは、インドの主要都市に2000以上の店舗を構え、世界60カ国以上に850近い店舗を展開しています。また、ロイヤルエンフィールドは、英国のブランディングソープとインドのチェンナイに2つのテクニカルセンターを有し、インドの都市チェンナイ近郊のオラガダムとヴァラムヴァダガルに2つの最新鋭の生産施設を運用しているほか、バングラデシュ、ネパール、ブラジル、タイ、アルゼンチン、コロンビアの6ヶ所に近代的なCKD(コンプリート・ノック・ダウン)組立工場も有しています。

ロイヤルエンフィールドのブランドや製品に関する詳細は下記公式ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.royalenfield.co.jp>

全国のROYAL ENFIELD 正規販売店は下記よりご確認ください。

<https://www.royalenfield.co.jp/dealers/>

本件に関するお問い合わせ先：ロイヤルエンフィールドジャパン(総輸入発売元:ピーシーアイ株式会社)

<https://www.royalenfield.co.jp>